

組 番 名前：

校庭や学校周辺

教科書 p. 6・7 を見て、野外観察のマナーについて、() に当てはまる言葉を書きましょう。

- (採集) は必要最低限にとどめる。
- 土を掘ったり、石を持ち上げたりしたら (もと) に戻す。

観察・記録のしかた

- 1 ルーペの使い方について、教科書 p. 12 を読み、() の中に当てはまる言葉を書きましょう。

- ① ルーペは (目) に近づけて持ち、見たいものを (前後) に動かして、よく見える位置を探す。
- ② 見たいものが動かせない場合は、(顔) を前後に動かして、よく見える位置を探す。

注意：ルーペではいけないことは何か？

→ ルーペで (太陽) を見てはいけない！

ルーペの図は、
教科書 p. 12 を参照

- 2 タンポポの花を手に持ち、ルーペで観察した。ルーペの使い方として正しいものを、ア～エの中から1つ選んで、○で囲みましょう。

ア



イ



ウ

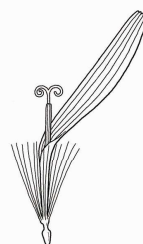


エ



- 3 スケッチのしかたについて、教科書 p. 13 を読み、() の中に当てはまる言葉を書きましょう。

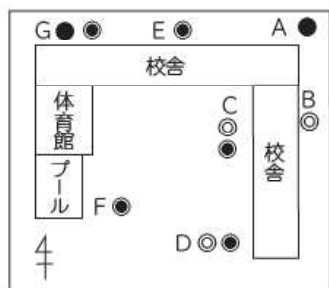
- ・ (目的) とするものだけを対象にしてかく。
- ・ 先を (細く) けずった鉛筆を使い、1本の線で輪郭をはっきり表す。
- ・ (影) をつけない。
- ・ 気づいたことを (ことば) でも記録する。



組 番 名前：

【実習1】植物と生えている場所の特徴を調べる

校庭に生えている植物について調べた。教科書 p. 14・15を読み、() の中に当てはまる言葉を、それぞれ語群から選んで、書きましょう。



● スギゴケ
◎ カタバミ
⊗ セイヨウタンポポ

表	環境	
	日あたり	しめりけ
A	×	○
B	×	○
C	○	△
D	○	×
E	×	○
F	○	△
G	×	○

【語群】

セイヨウタンポポ
カタバミ
スギゴケ

- ① (**スギゴケ**) は、日あたりが悪くてしめりけの多いところだけ生える。
- ② (**カタバミ**) は、日あたりやしめりけにあまり関係なく生える。
- ③ (**セイヨウタンポポ**) は、しめりけの多いところには生えないが、日あたりはよくても悪くても生える。

【観察1】水中で生活している微少な生物を観察する

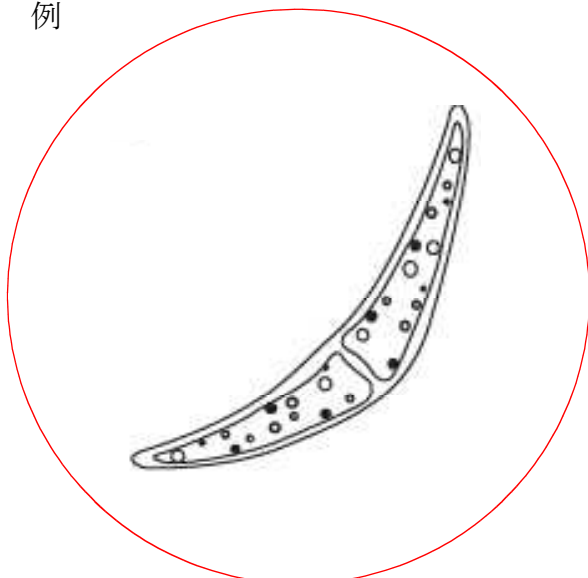
教科書 p. 17の微少な生物のうち、2つを選んで、それぞれスケッチしてみよう。

例

【 **ミジンコ** 】

選んだ微少な生物の名前

例

【 **ミカヅキモ** 】

選んだ微少な生物の名前

※ スケッチのしかたについては、教科書 p. 13も見よう。

組 番 名前：

【顕微鏡の使い方】

- 1 顕微鏡の各部位の名称を下に示した。各部位を、教科書 p. 18の顕微鏡の図を見ながら確認しよう。(※確認したら☑チェックを入れよう。)

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 接眼レンズ | <input type="checkbox"/> 対物レンズ | <input type="checkbox"/> 反射鏡 | <input type="checkbox"/> しぼり |
| <input type="checkbox"/> ステージ | <input type="checkbox"/> 調節ねじ | <input type="checkbox"/> アーム | <input type="checkbox"/> 鏡筒 |
| <input type="checkbox"/> レボルバー | <input type="checkbox"/> クリップ | | |

- 2 顕微鏡の使い方について、教科書 p. 18を読み、() に当てはまる言葉を書きましょう。

- | |
|---|
| ① 顕微鏡を(直射日光)のあたらない明るいところに置く。 |
| ② (反射鏡)の角度や(しぼり)を調整して視野全体が一様に明るくなるように調整する。 |
| ③ (プレパラート)をステージの上にのせ、プレパラートできるだけ(対物)レンズを近づける。
※ 対物レンズを(横)から見ながら、少しずつ(調節ねじ)を回す。 |
| ④ 調節ねじを③と(反対)に回してプレパラートを 離していき、(ピン)が合ったら止める。
※ (接眼)レンズをのぞきながら、調節ねじを(ゆっくり)と回す。 |
| ⑤ ものがいちばんよく見えるように、(しぼり)を変える。 |
| ⑥ 倍率を高くする場合は、見えるものが視野の中央にくるようにしてから(レボルバー)を回す。 |

- 3 顕微鏡の倍率について、教科書 p. 18を読み、まとめよう。

<p>接眼レンズが10×、対物レンズが40の場合は、10×40で400倍である。 ふつう、はじめはもっとも低い倍率で観察し、見たいところから決めてから高倍率に変えて観察する。</p>

組 番 名前：

【双眼実態顕微鏡の使い方】

- 1 双眼実態顕微鏡の各部位の名称を下に示した。各部位を、教科書 p. 19の顕微鏡の図を見ながら確認しよう。(※確認したら☑チェックを入れよう。)

<input type="checkbox"/> 接眼レンズ	<input type="checkbox"/> 対物レンズ	<input type="checkbox"/> 粗動ねじ	<input type="checkbox"/> 微動ねじ
<input type="checkbox"/> ステージ	<input type="checkbox"/> クリップ	<input type="checkbox"/> 鏡筒	

- 2 双眼実態教科書 p. 19を読み、使い方の1～3をまとめよう。

- 1 鏡筒の間隔を調節する。

両目でのぞきながら、視野が重なって見えるように鏡筒の間隔を調節する。

- 2 鏡筒を上下させ、右目でピントを合わせる。

右目だけでのぞきながら、粗動ねじをゆるめて鏡筒を上下させ、ほぼピントを合わせてから微動ねじでしっかりピントを合わせる。

※ ねじをゆるめると本体が急に下がるので、必ず鏡筒を支えながら操作する。

- 3 視度調節リングで、左目のピントを合わせる。

左目だけでのぞきながら、視度調節リングを左右に回してピントを合わせる。

※ 双眼実態顕微鏡では、観察しながら見ているものを（ 操作 ）できる。
また、両目で見るため、（ 立体 ）的に見える。

組 番 名前：

1 花のつくりとはたらき

[A] 花のつくり

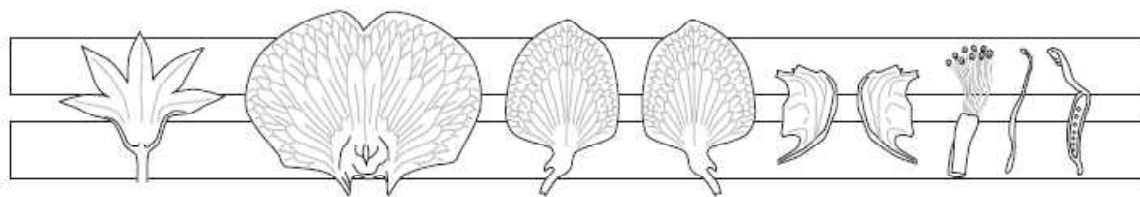
- 1 教科書 p. 24の「チューリップ」と「エンドウ」の花を見ると、見かけはちがっても、どちらも花弁（花びら）がある。花弁以外に、花には共通するつくりがあるのだろうか。自分の考えを書いてみましょう。

(例)

花には、めしべやおしべがある。

花がさいた後、めしべの下部分がふくらんでくる。

- 2 花を分解してつくりを観察した。結果からわかることについて、教科書 p. 26を読み、まとめましょう。



<結果からわかること>

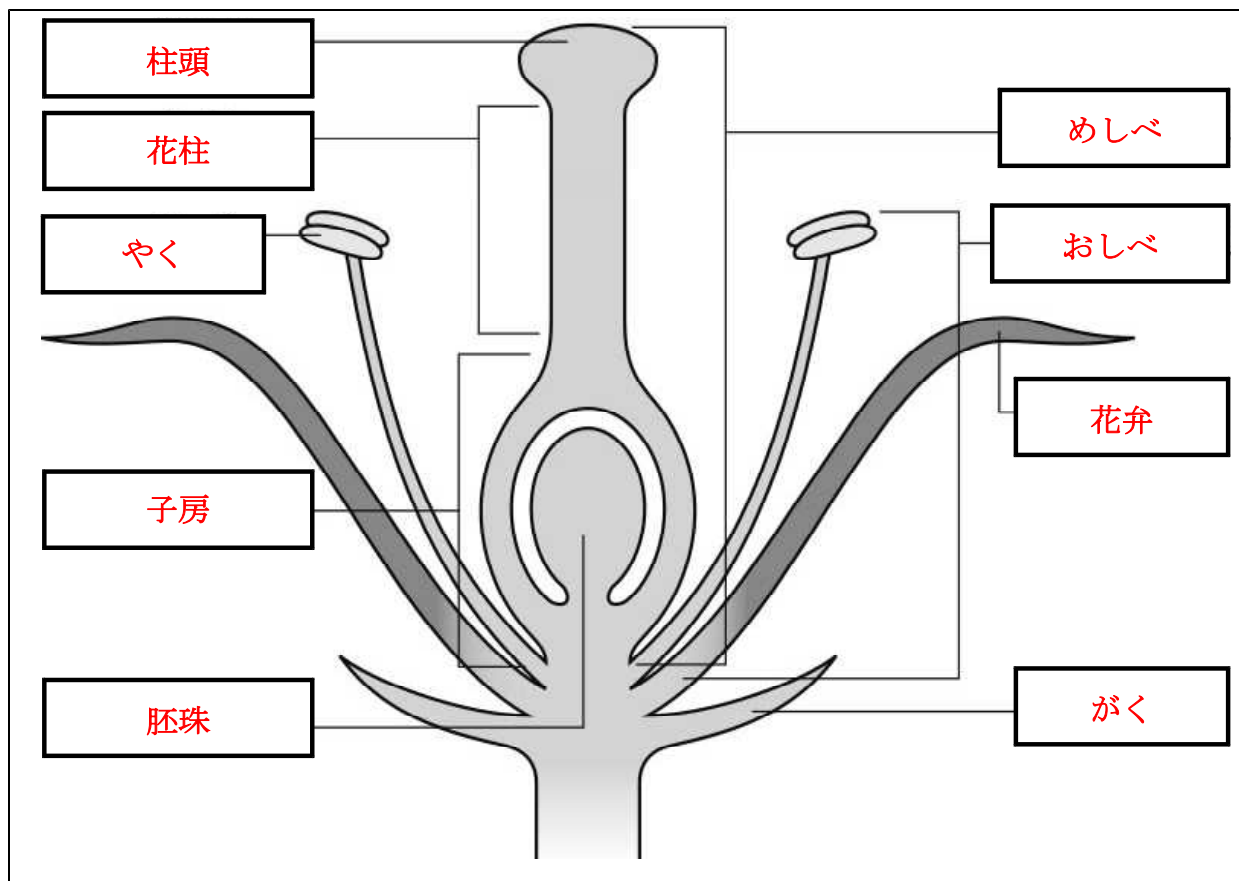
- ・花は、植物によって、花弁やおしべなどの形や数、色などがちがっている。
- ・どの花も、外側から、がく、花弁、おしべ、めしべの順になっている。
- ・めしべを切って断面を見ると、小さな粒が見られる。

- 3 花のつくりについて、教科書 p. 26を読み、() に当てはまる言葉を書きましょう。

- ・めしべの花柱の先を（ **柱頭** ）という。
- ・めしべの根もとのふくらんだ部分を（ **子房** ）という。
- ・子房の中にある小さな粒を（ **胚珠** ）という。
- ・おしべの先の小さな袋を（ **やく** ）といい、その中に（ **花粉** ）が入っている。

組 番 名前：

- 1 教科書 p. 26を読み、花のつくりについて、 に当てはまる言葉を書きましょう。



- 2 教科書 p. 26を読み、「離弁花」と「合弁花」についてまとめよう。
また、それぞれ具体的な植物の名前を2つ以上、書きましょう。

離弁花	合弁花
<p>< 離弁花とは？ > 頭花がたがいに離れている花</p>	<p>< 合弁花とは？ > 花弁がくっついている花</p>
<p>< 具体的な植物の名前 > アブラナ、サクラなど</p>	<p>< 具体的な植物の名前 > ツツジ、アサガオなど</p>